

オリジナル耐久性フィルム提案

タカハラコーポレーション

住宅・ビルメンテナンスのタカハラコーポレーション（本社名古屋市区野南町、高原紘治社長、電話052・504・3371）は、オリジナル耐久性フィルム「ビバフィルム」の販路拡大を進めている。耐久性や抗菌性などの特長を生かした商品展開を行い、幅広い分野への活用を促す。展示会への出展とともに、異業種と連携した商品開発をめざす。

（渡部雄平）

床や壁のメンテに 異業種連携の商品開発も視野

ビバフィルムは、建物の床や壁などのメンテナンス商材として、同社が開発した耐久性フィルム。耐久性や耐熱性、抗菌・防カビ性に優れており、傷や汚れに強い。また、強酸・強アルカリ溶剤などにも強く耐薬品性にも優れているほか、紫外線カットや静電気防止などの効果もあるという。

「それぞれの分野に優れたフィルムはあるが、それらの効果を

一つにまとめたのがビバフィルムの特長」（高原文二専務）としており、特許も取得している。

こうした特長を生かして、ビバフィルムを用いた「ビバシリーズ」として商品展開を行っている。工場や倉庫などの傷みややすい床で使用する「ビバスーパーラインテープ」や「ビバ歩行帯シート」を開発。他にも、貼るだけで割れない鏡として利用できる「ビバミ

ラーフィルム」や携帯電話やタッチパネルなどの液晶画面を保護する「ビバタッチパネル保護フィルム」など多様な用途を提案している。

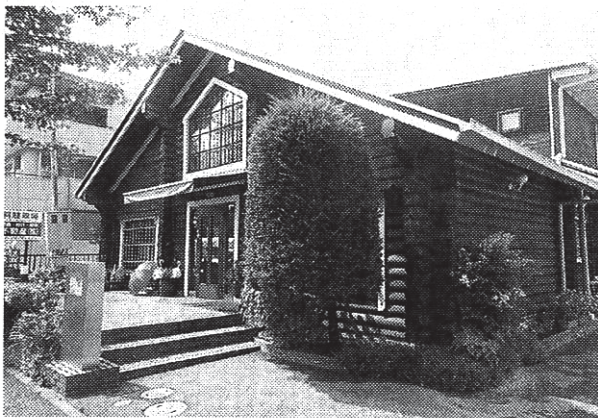
今後、衛生面への配慮が必要な医療や飲食の分野へ

も積極的に展開。医療機関や医療器具、厨房（ちゅうぼう）などへの活用を促す。また、家具メーカーや建材メーカーなどの異業種と連携し、ビバフィルムを活用した商品開発の提案に取り組み。東京や大阪などの異業種が集まる展示会にも出展し、メーカーへのアプローチにつなげていく。

高原文二専務は「ビバフィルムを異業種の新商品に組み合わせて、より付加価値が高まる商品開発につなげていきたい」と話している。



「ビバ歩行帯シート」の施工例



名古屋市区野の本社